

ビーチバレーボール競技

溝江明香選手 (28) 東京都町田市出身
碧南市を拠点に活動

経歴

2016年 リオオリンピック直前まで日本代表として活躍するものの、アジア最終予選で敗退し、オリンピック出場に至らなかった

意気込み

碧南市に拠点を移して約10か月経ちました。多くの人に応援してもらい、競技に集中できる環境で活動できることに感謝しています。周りから頂いている力を結果で皆さんにお返しできるように日々精進します。東京オリンピックに出場し、メダル獲得を目指してがんばります。

オリンピックへの道のり (選考基準など)

- ・世界選手権 優勝
- ・五輪ランキング 15位以内
- ・アジア予選 優勝
- ・国内決定戦 優勝

橋本涼加選手 (25) 三重県鈴鹿市出身
碧南市を拠点に活動

経歴

2016年 インドアバレーから転向

意気込み

たくさんの人に支えられてここまでこれたので、7月に東京で開催されるワールドツアー2019東京大会(代表選考)では上位10位ではなく、5位以上の順位で、オリンピックへの出場権を獲得したいです。本大会に出場ができれば、地元開催の追い風を受け、メダル獲得を目指して頑張りたいです。



△左から溝江選手、橋本選手

セーリング競技 (49er FX級・女子)

板倉広佳選手 (31歳) 千福町出身

経歴

2003年 碧南工業高校ヨット部に入部し、ヨットを始める
2015年 49er FX級でオリンピックキャンペーン活動開始
ナショナルチーム入り以降、世界選手権やワールドカップなどの国際大会へ出場



意気込み

いつも応援いただきありがとうございます。
東京オリンピック代表選考は、決して容易でなく厳しい戦いになると思います。
愛知県、そして私の故郷である碧南市からオリンピック選手が輩出されるよう、残された時間全力で取り組み、代表権を必ず獲得したいと思います。

オリンピックへの道のり (選考基準など)

指定の3大会において、東京オリンピック出場可能国枠数21か国以内に入った場合にポイントが付与され、代表が選考される(49er FX級では、国内で1チームのみが出場可能)。
世界選手権大会において3位以内に入賞した場合は、その時点で代表が内定される。

パラリンピック・カヌー競技 (KL2・男子/VL2・男子)

加藤隆典選手 (40歳) 伊勢町出身
油ヶ淵を拠点として活動

経歴

2006年 事故により、せき髄を圧迫骨折し、両下肢全廃の障害を負う
2016年 趣味のアウトドアスポーツの経験を活かし、パラカヌーを始める
2018年、2019年と日本代表として活躍

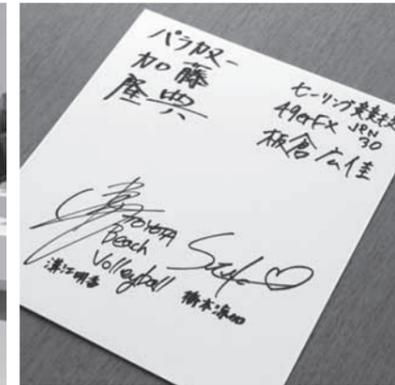


意気込み

2019年度よりパラリンピック出場枠をかけた各国代表との争いが本格化します。最終選考まで残り1年強、ラストスパートをかけて必ず勝ち取ります。

パラリンピックへの道のり (選考基準など)

2019年 世界選手権 上位6か国
2020年 世界選手権 上記を除いた上位4か国
そのほか、該当選手がいない場合、開催国枠としてVL、KL男女各1枠が与えられる。



みんなで
応援
しよう!

東京2020
オリンピック・パラリンピック
出場地元有力選手

4月12日(金)に東京2020オリンピック・パラリンピック出場を目標とする溝江明香選手・橋本涼加選手(ビーチバレーボール)、板倉広佳選手(セーリング)、加藤隆典選手(パラカヌー)の4人を招き、表敬訪問と激励会を行いました。選手たちは、表敬訪問を終えた後、市役所内を回り、集まった市民の皆さんや職員から激励を受けました。

激励のことば

榑宜田政信市長

オリンピックでメダルを取ったら碧南初となる。金メダルを取ったら、これも碧南初となるパレードを開催してお祝いしたい。

生田弘幸教育長

オリンピック・パラリンピックへの出場は、選手個人だけでなく、子どもや市民の皆さんにとっても大切な夢である。応援しているので、頑張ってもらいたい。

榑原健スポーツ協会会長

オリンピック・パラリンピック出場をプレッシャーに感じず、楽しんですべてを出し切ってほしい。

問合せ
臨海体育館内スポーツ課
☎(48)5311